

第2章 基本政策② 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】

第1節 就学前教育

施策1 就学前教育の充実

基本計画
掲載頁

76～77

施策の 達成状況	B	A：順調に推移した B：おおむね順調に推移した C：進捗が遅れた	成果	幼保小の子どもたちの交流活動において、情緒面での成長が見られたほか、職員交流では、情報共有だけでなく互いの教育活動への理解を深めることができた。
			課題	子育てにおける様々なステージにおいて必要な知識や情報を、より多くの子育て世帯に知ってもらうため、子育てに関する講座の積極的なPRを行うなどの必要がある。
今後の 方向性	II	I：現状のまま継続 II：一部見直し等の余地がある III：抜本的な見直し等が必要	成果・課題を踏まえた今後の取組方針	引き続き、就学前教育の充実を図るため、幼保小の交流事業を推進していく。 また、子育て世帯や地域に対して、一体的な支援を継続的に行う。

【参考】施策領域ごとのKPI※1（重要業績評価指標）

項目	現状値 (策定時点)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標値	令和5年度時点 達成度※2	所管課
子育てに関する講座への参加率	100%	0%					100%	C	こども支援課
幼児・児童交流会への参加している幼稚園、保育園の割合	65.30%	100%					80%	A	教育支援課

※1 KPIは「施策」ではなく「施策領域」ごとに設定しているものです。

※2 【達成状況評価について】A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：やや遅れ気味

主な施策展開の進捗状況

(1) 家庭や地域における教育のための学習機会の充実	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○ 就学前の子どもを持つ保護者を対象として、子育て講座を実施し、家庭における教育力の向上を促します。	C（やや遅れている）	就学前健康診断や入学説明会の際に、保護者に子育て講座を行っていたが、コロナにより、学校の実施方法が変更となり中止した。事業復活に向けて小・中学校へアンケートを行ったところ、講座の時間が取れない、必要ないとの意見もあったため、継続又は代替事業について検討する。	こども未来部	こども支援課
○ これから親になる世代や、子どもを見守ることが期待される世代に対して、家庭と地域における教育の大切さの啓発に努めます。	C（やや遅れている）	中学校家庭科の授業のための事業となっていたことから、こども支援課の事業としては廃止した。（令和5年度四中から地域子育て支援センター山ゆりに依頼あり、実施）	こども未来部	こども支援課
(2) 認定こども園・幼稚園・保育園・小学校の連携の充実	施策の進捗状況	評価の説明	所管部	所管課
○ 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、保育士や教職員が双方の教育の理解を深める取組を推進するとともに、園児と児童が交流する場づくりを推進し、認定こども園・幼稚園・保育園・小学校の連携の充実を図ります。	A（順調）	令和5年度は年2回の幼保小推進協議会を開催することができ、情報交換を軸とした共通認識による一体的な教育を実践することができた。また、小学生と園児が交流する機会を全ての小学校ブロックで実施することもでき、園児にとっては小学校に対する安心感、小学生にとっては年下を思いやる優しい心の育成に効果を示した。	学校教育部	教育支援課